

ちょっと聞かせて♪ あちかど"インタビュー



作業中のメンバーの皆さん

新施設開所に伴う新たな職業訓練として、喫茶営業開設のためのお菓子作りを教わったり、商品力アップのため地域のケーキ屋さんに相談に乗っていただいたりもしています。メンバーが熟練し、心のこもった美味しいコーヒーが入れられるようになつたら、オープンです。「これからも地域の皆さんに支えていただきながら、共生していきたいと思います。

7月に移転した「地域活動支援センター赤とんぼ」 移転後の日常活動の様子について伺いました

富士見町地域活動支援センター赤とんぼは、去る7月15日、旧国際建設跡地に移転しました。

私たちちはメンバー一人ひとりの夢の実現に向けて、住み慣れた町で暮らし続けるため、作業・活動を通して生活の自立と社会参加の促進を図っています。現在12名のメンバーがそれぞれの個性を発揮して、活き活きと日常活動を行っています。新赤とんぼは、大きな窓の正面にパノラマスキー場、背後には雄大なハケ岳と美しい緑の景観が目に飛び込んでくる素敵な施設です。部屋も明るいため、メンバーは伸び伸び

と作業に取り組んでいます。仕事の合間には、テラスの椅子に座って行き交う車を眺め、高原の優しい風に包まれながら穏やかに一息つくメンバーの様子も窺えます。

循環型社会を目指したりサイクル活動も10年目になりました。街中の立地となり敷地も拡大したことで、新たに古紙等を搬入していく地域の方々も増えており、そのおかげでメンバーの仕事に対する意識も高まり、地域との大切な交流の場になっています。また、短時間就労先も増え、メンバーの達成感・目的意識を持つことの大切さを学ばせていただいています。

今定例会は熱かつた。言うまでもなく、太陽光発電関連の一般質問である。議員の半数が質問した。町民の関心が高いこの問題は、今後の富士見町の行く末に多大な影響を及ぼす。同時に、私たち議員の一人ひとりに、その見識を厳しく問い合わせるものもある。今ここに議員として席を得ていることに感謝し、全力を挙げて適切な判断をしていく覚悟だ。

ほかにも、議員としていかにあるべきかを考えさせられるテーマが二つあった。議場における発言の在り方。理想と現実をどう調整するか。いずれも、未だに新人である私には重い。まだまだ精進が必要であることを痛感させられる議会であった。

〈富士見町議会へご意見をお寄せください〉

【No.124】 2012年10月15日 発行

発行:富士見町議会／編集:議会広報編集委員会
委員長 佐久祐司 副委員長 平出隼仁
委員 小池勇 宮下伸悟

〒399-0292
長野県諏訪郡富士見町落合10777
TEL:0266-62-9403 / FAX:0266-62-9320
E-mail:gikai@town.fujimi.lg.jp

印刷 (有)富士見印刷

議会傍聴記

第463回定例町議会の一部を傍聴しました。傍聴のたびに、自分や次世代の生活に関わること故、足繁く通わなければと反省させられます。感じたことを少し記させていただきます。

*FMK(富士見メガソーラー株式会社)について

複数議員から意見が出されたFMKについては、「住民懇談会開催」の知らせがあり安堵しました。町民の理解・納得を得ることが最優先だと思います。

*防犯対策について

子どもに関して、知らない事件が多いことに驚きました。高齢者への犯罪もありました。家族と地域住民の協力を得て、更にきめ細かい防犯対策が必要と感じます。尊い命に関することです。一人の犠牲者も出さぬ強い決意で早急の対策を望みます。諏訪6市町村中犯罪件数が最も低いなどということは、目安にはならないと思います。

厳しい意見もありましたが、町政・議会等の更なる向上のためには必要不可欠だと思います。素直かつ活発な議論が行われることを望みます。勇気ある発言に頼もしさを感じました。個人的と捉えられがちですが、町長はじめ職員が肩書きを持って臨む時、それは公人扱いだと思います。

健康に留意され、町民のために、今後ともよろしくお願ひいたします。
(立沢広原 下川悦子)